



гент少年サッカーチーム来訪

～第2回世界少年サッカー大会参加～



(両市のさわやかイレブン市営球技場ゴール前にて)

熱戦展開！ 仲良く1勝1敗

ベルギー・гент市の少年サッカーチーム「K・A・A гент」と金沢市選抜の2チームとの交流試合が昨年8月23日、市営球技場で開かれ熱のこもったプレーを展開した。それぞれ3-4、3-2と仲良く1勝1敗となった。

гент市チームは26日に東京で開かれる第2回世界少年サッカー大会に出場するために来日し、姉妹都市の本市を訪れたもの。滞在中は市内の少年サッカー選

手の家庭に民泊するなどし、友好親善を深めた。



(試合中のイレブン)

深まる友好交流

～市役所代表団派遣～

本市は昨年9月2日市代表団4名（団長、京田善治土本部長）をイルクーツク市へ派遣した。滞在中、一行はイルクーツク市から温かいもてなしを受け、日本人墓地の参拝やバイカル湖の視察、シクロバト市長の歓迎レセプションなど多彩なスケジュールにより両市の友情を一層深

め、9日元気に帰国した。また団員として参加した沼田裕之市早朝野球協会相談役は現地にてプレー指導を行い10年前に石川県早朝野球訪ソ親善使節団が紹介し芽生えた野球交流の種が着実に育っていることを確認した。



（イルクーツク市内で）

勝敗より友好

～サッカー選手団受入～

金沢・イルクーツク両市の相互派遣事業の一環として、本市は9月19日から26日までゴボリン第一副市長を団長とする市執行委員会代表団・サッカー代表団一行23名を招いた。一行は一般選抜チーム、学生選抜チームとそれぞれ親善試合を行い、友好ムードは大いに



（ボールを追う両市選手）

盛り上がった。この後、副市長一行は東京を視察、サッカー代表団はサヨナラパーティーなどで市民との交流を深めたのち、新潟市で合流、26日午後新潟発のエアフロート機で帰国した。

ト

ピ

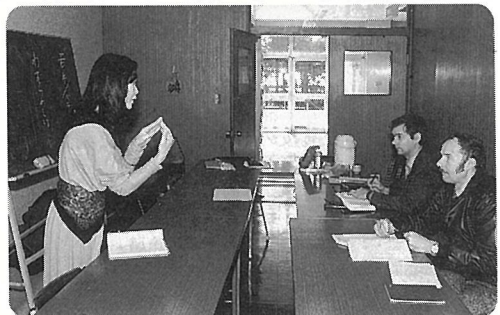
ツ

ク

ス

～語学研修生2名来訪(イルクーツク)～

この研修生はA P N通信東シベリア支局のウラソフ・ウラジミール記者（42才）とイルクーツク経済大学のドゥプロビン・オレグ主任教師（37才）、二人は昨年11月下旬に来沢し82日間にわたり「金沢を世界に開く市民の会」による日本語語学研修を受けた。滞在中は日本旅館に寄宿し日本人の生活と文化を体験した。両氏はイルクーツクに帰ると外国語学校の日本語講座を受け持つことになる。



（研修中の2人）

●● 交流真っ盛り ●●

～多彩な交流～

◀◀ 両市の絆一層強く ▶▶

○助役訪蘇

昨年10月21日、山出助役を団長とする金沢市幹部代表団一行5名が蘇州市の招請を受け訪中した。同代表団は今後の両市の相互交流について協議を行った。そのなかで、山出助役より俞蘇州市長に対して今年の市制百周年に招待したい旨の市長メッセージを手渡し来沢を依頼したところ、「できるだけ都合をつけて招きに応じたい」との快諾を得た。一行は



(俞市長とガッチリ握手を交わす助役)

俞市長のほか範育民、周大炎の両副市長ら蘇州市幹部とも会い大いに友好を深めた。さらに、蘇州市滞在中は刺繍研究所、メリヤス工場など蘇州市の主要な手工芸品産業の視察や寒山寺、拙政園の参観を通じて蘇州市民と友好を温めた。蘇州市訪問後、北京で故宮や天安門を参観し28日帰国した。



(北京の天安門広場にて)

《深まる技術交流の輪》

★工場長一行受入 ▶

昨年8月25日、蘇州市工業技術考察団が来沢し、8

☆外事弁公室代表団来訪

■11月6日、金沢・蘇州両市の今後の相互交流のあり方を協議するため、蘇州市外事弁公室の幹部職員たち5名が来沢、市役所で山出助役、北井副議長らと親しく歓談し、両市の姉妹都市交流のあり方について意見を述べ合った。この後、実務者レベルで打ち合わせを行い今後の交流の方向づけを行うなどし友好を深めた。



(兼六園を散策する一行)

月31日まで滞在、金型、鋳物関係の工場を熱心に見学した。一行は過去本市が鉄工協会の協力を得て受け入れた蘇州市の工業研修生が働く工場の責任者で構成され、工場参観に加え、「管理者講義」の受講や鉄工協会とのミーティングを通じて両市の経済交流を大いに深めた。



(文化ホールで一息入れる一行)

～農業視察団派遣～

昨年5月23日から30日まで、金沢市農業視察団一行5名（団長・米尾貞夫農林部長）は蘇州市の招きで中国を訪れた。

初めて目にする広大な中国の地は一行に深い印象を与えた。農作業はほとんど人力だが、農家にも



（蘇州市内の有名な園林にて）

請負制度が出来、儲る作物（トマト、キュウリ等）も作るようになり、中国の農業が近代化に向け着々と進んでいる現状を一行は肌で感じた。

全球で友好

～ソフトボールチーム派遣～

昨年8月初旬、金沢市ソフトボール訪中国一行21名（団長・中元好生活環境部長）が蘇州市を訪問。中国へ男子チームが入ったのは、今回が世界で最初。蘇州大学の教官と学生の混成チームと試合を行った後、技術

研修を行い、交流を深め普及に努めた。馮大江副市長が主催した歓迎宴では、教官、学生そして体育運動委員会関係者も出席し、大いにスポーツ交流を深めた。



（蘇州大学で全球指導）



文化教育交流！

◇教育代表団派遣

昨年11月29日から12月5日まで金沢市教育視察団一行5名（団長・奥清教育長）が蘇州市を訪問。滞在中、精力的に教育施設を見学したが、蘇州市電子学校ではテレビ、ラジオの製作における基礎

知識、技能を生徒が段階的に習得する様子を視察した。また、蘇州大学では学長とも歓談し、外国との交流の重要性を話し合った。さらに、歴史博物館や拙政園を見学しその歴史の深



（蘇州市電子学校を視察）



◇文化教育代表団受入

昨年6月23日、蘇州市の文化教育代表団が来訪、28日まで本市に滞在し、交流を深めた。一行は周大炎副市長を団長とする蘇州市の文化教育部門の幹部と張学外弁副主任の5名で、滞在中は文化ホール、総合体育館などの文化教育施設や加賀友禪、金箔などの伝統工芸施設を見学した。さらに教育センターや市立工業高校を訪問し、教育関係者と両市の教育について盛んに意見を交換し友好を温めた。



（江川市長を表敬訪問）

金

沢

NANCY

ナンシー市ラグビーチーム来訪

フランス・ナンシー市からラグビーチーム一行32名（ジャック・ギティエ監督）が来沢し、7月12日から20日まで滞在した。



（市営球技場に全員集合）



（試合後、健闘をたたえ合う両チーム）

滞在中は、県・市ラグビーフットボール協会の協力を得て、13日、17日にそれぞれ金沢大学、NTT北陸と親善試合を行った。いづれも32-19、38-10とナンシーチームの勝利に終わったが試合後の交歓会では選手同志が互いの健闘をほめたたえ友情を深めた。滞在中、一行は、市内見学、能登エクスカッション、ホームスティなどを通し両市間の理解と友情を深め合った。

交換留学生コクリーユ君来沢



フランス・ナンシー市から交換留学生ロラン・ユクリーユ君が昨年7月6日に来沢。金沢美術工芸大学で今年3月まで日本画を学ぶことになった。コクリーユ君は、ナンシーから8人目

の留学生で、ナンシー美術専門学校2年生。本市滞在中は、小立野の樋口氏宅にホームスティをして通学。本市から毎月8万円が支給される。

金

沢

GENT

ユーロパリア日本祭(今秋)へ
出展参加準備

今年9月から11月までベルギーで開かれるユーロパリア日本祭に石川県と金沢市とが共同で美術工芸品を約90点出展することになった。ユーロパリア博は、大変人気のある博覧会で今年は日本がゲスト国となった。本市はベルギーのアントワープ市と姉妹都市ということもあって特別に参加要請があったもので、美術品のほか、アンサンブル金沢のアントワープ市での公演や加賀友禅の出展も予定されており、関係者は今からその準備に追われている。



（アントワープ市内風景：中世ギルド建築）

◆ 本会会長姉妹都市歴訪

昨年10月12日から北市朗本会会長（市議会議長）と村池久一市議会議員がгент（ベルギー）、ナンシー（フランス）、バファロ（米国）の3姉妹都市を歴訪し、27日無事帰沢した。北会長と村池市議会議員は歴訪中、гент市のヴァン・クックベーク助役（文化、観光、教育、経済担当）、ナンシー市のアンドレ・ロッシノ市長、バファロ市のジェームズ・D・グリフィン市長をそれぞれ表敬訪問した。

北会長らがこれら姉妹都市の市長夫妻を来年の百万



（ナンシー市長と助役を表敬）

石まつりに招待する意向を関係者に伝え、たところ、3市とも「市長または市の代表者が金沢を訪れ、金沢市が計画中の「姉妹都市市長会議」に出席したい」と金沢市の招待を歓迎した。

この招請の旅が大きな成果を収めたことにより、今年の百万石まつりは市制百周年を飾るにふさわしい国際色豊かなものになりそうだ。



（バファロのグリフィン市長執務室にて）

◆ 市制百周年の市長招請状発送

金沢市では、市制百周年記念事業として、ポルトアレグレ市を含む6姉妹都市の市長夫妻らを今年の百万石まつりに招き「姉妹都市市長会議」の開催を計画、市長、本会会長名で正式な招請状を昨年4月、各市長あてに発送した。これまでにバファロ（アメリカ）、イ

ルクーツク（ソ連）、гент（ベルギー）、ナンシー（フランス）、蘇州（中国）が前向きの姿勢を示している。

1989年



金沢市制100周年



（発送した書簡）

プロフィール

●●●●勉学に励む姉妹都市留学生●●●● (作文)

◆イルクーツク市より

ウラーソフ・ウラジミール (42才)



私達は、金沢で3ヵ月間勉強をしました。この間に、幾つもの深い印象と、忘れられない多くの思い出をつくることができました。

まず第一に、金沢の人々が、とても発展した文化的な町で暮らしていて、素晴らしい心を持っていることにおどろきました。第二には、この町にはとても多くの緑があり、本当に美しく、また多くの古い遺跡が、新しい町ともよく調和していることに感心しました。

「人々の素晴らしい心」は、私達ソ連人を暖かく迎え

てくれたことでよくわかり、私の心に一番残りました。

私達が会った人たちは皆親切で、友情を大切にしています。そしてこの友情の大きさは、ロシア語を勉強している人の多いことでもよくわかりました。

最後に、金沢とイルクーツクの関係について考えたとき、今より以上に、文化的にそして経済的に交流を深めることが必要であり、またその可能性がとてもたくさんあることがわかりました。

私達の金沢での勉強の時間は終わってしまいましたが、ここで学んだ多くのことを、これから生かして行こうと思います。

ウラーソフ・ウラジミール
平成元年2月9日 (原文通り)

日本へ初めて来たオレグ・ドゥブロビン(37才)

私達は3ヵ月ぐらい市役所の招待を受けて金沢で日本語を勉強しました。私の考えでは、日本語を勉強するばかりでなくて日本文化、日本の生活様式も勉強してきました。

私達は日本旅館に住んでいました。毎日、日本人と一緒に生活しましたから日本人の生活がよくわかりました。日本人は私達を愛想よく迎えてくれました。日本の伝統、そして日本語や生活様式を習いました。

日本にはいろいろの勝れた民芸がありいろいろの歴史的な名所が大切に保存されています。そのことは人民の心にも残っています。ですから日本語を勉強して日本の生活を体験できてそのようなことがわかったことを私はとてもうれしく思っています。(原文通り)



◆ナンシー市より

ロラン・コクリュー君(26才) 日本画勉強

昨年7月のある日の早朝金沢に到着、大変落ち着いた静かな町だという印象を受けた。金沢は古いものと新しいものを同時に保存する素晴らしい町だが、私は余りにもアメリカ的なところは好きではない。滞在中一番悪い体験は、私の下宿の近くの病院の脇に実験に使った犬の死体が袋に詰まっているのを見た事です。こういうことは大いに注意する必要があると思います。しかし、何ととっても海と山に囲まれ、新しい美術の源泉地である古都金沢に住み、金沢市民の大きな心に触れることができ、私は本当に幸運だと思います。(原文は仏語)



(日本画の製作に打ち込むコクリュー君)

63年度その他の国際交流

世界に広がる交流

4月

- 4/4 中国瀋陽市の魯迅美術学院一行が来庁
- 4/7～4/8 第20回日韓日合同経済委員会会議開催
- 4/13 マリンガ市ゲートホール愛好家一行来庁
- 4/19 北京師範大学訪日代表团3名来庁
- 4/21 ソビエト大使館領事部長来庁
- 4/28 江川市長首相官邸で「国際交流」に関し報告

5月

- 5/1～5/5 国際ガラス工芸展'88開催
- 5/4～5/5 石川県視覚障害者協会一行3名訪蘇
- 5/17～5/22 第14回石川県ハワイ産業事情視察団派遣
- 5/17～5/23 蘇州市へ技術交流団派遣
- 5/18～5/30 ハワイで第14回石川県の観光物産展開催
- 5/28 フランス大使館文化参事官補佐が来庁

6月

- 6/4～6/12 シンガポール芸術祭へ県文化親善団派遣
- 6/6 北ソウル青年会議所一行14名が来庁
- 6/16～6/28 輸入促進展示会（トルコ展）開催

7月

- 7/1 AFS留学生2名来庁
- 7/7 中国遼寧国際経済技術合作公司支配人来庁
- 7/19 ロータークラブ短期交換学生一行が来庁
- 7/20～7/24 夢半島のと「JAPAN TENT」開催（写真上）
- 7/21 在大阪・神戸フランス領事館総領事が来庁
- 7/18～8/10 日独スポーツ少年団同時交流派遣
- 7/26～7/29 日独スポーツ少年団同時交流受入
- 7/31～8/8 東南アジアコンベンション視察団派遣



8月

- 8/5～8/9 日韓友好石川少年の翼派遣
- 8/6 スウェーデンのカンテリナ合唱団一行来庁
- 8/9～8/13 '88沿岸貿易日本商品専門見本市開催
- 8/11～8/12 日中ジュニア交流競技会開催
- 8/11～8/20 第17回青少年、第4回婦人代表海外派遣
- 8/18 ゲント国立大学教授ウィリマン氏来庁
- 8/22 蘇州市無線電運動協会訪日団一行来庁
- 8/23 ライオンズクラブ交換学生ルナル君来庁
- 8/23～8/25 石川国際青年シンポジウム開催
- 8/26 ナンシー市TV局員自転車て来庁

9月

- 9/1～9/13 輸入促進展示会（スペイン展）開催
- 9/2～9/3 韓国航路開設要請陳情
- 9/4～9/11 石川県香港
- 9/6～9/7 繊維展および台湾産業事情視察
- 9/9 石川県繊維展示会香港で開催
- 9/13 中国大使館参事官彭家聲夫妻一行5名来庁
- 9/17 アメリカ・インディアンの代表3名が来庁
- 9/26 ゲント市実業家スリムブロック夫妻来庁
- 9/29 ソ連国立ポリショイバラエティー一行が来庁
- 9月～11月 蘇州市の刺繍技術者3名が来庁（写真上）
- 国際理解講座（シンガポール編）開催



10月

- 10/1～10/2 金沢青年社会参加のつどい開催
- 10/25 フランスのゴリチ画伯夫妻が来庁
- 10/30～11/4 63年度鉄工協会アジアニーズ視察（写真右）



11月

- 11/5 アスラニ駐日インド大使が来庁
- 11/18 蘇州市人民対外友好協会代表团一行が来庁

12月

- 12/1 ノトム駐日ベルギー大使夫妻来庁
- 12/1～12/3 現代中国絵画展市内で開催
- 12/12～12/13 江蘇省友好交流協議団（団長、段緒申前蘇州市長）一行6名来庁
- 12/17 ソ連イルクーツク州知事一行4名が来庁
- 12/21 北陸学院高等学校の米国、カナダ姉妹校校長団一行18名来庁
- 12/23 中国からの一時帰国者等に年末一時金支給



1月～3月

- 1/17～1/20 国際青少年代表团（豪）受入（写真右）
- 1/20 国際テキスタイルデザイン交流会開催
- 1/27～3/27 蘇州市技術研修生受入
- 2/8 江川市長在沢姉妹都市留学生と懇談（写真右）
- 3月 蘇州市技術研修生受入（予定）



（都市提携委員会以外で行われた本市の交流事業も含む。また、掲載写真の一部は北陸中日新聞の提供によるものです。）